



更なる元気な
二本松へ



二本松市長

新野 洋

新年おめでとうのご挨拶

市民の皆さまには輝かしい新年を健やかに迎えることとお慶びを申し上げます。

昨年は、新総合計画「二本松を元気に！新5カ年プラン」のスタートの年であり、アフターDの年でした。新5カ年プランでは「子育て支援や定住支援による人口減少対策」「産業・観光の振興による地域の均衡ある発展」「生涯スポーツと健康づくりの推進による健康寿命の延伸」の三つを最重要事項として取り組みを進めてきました。

昨年春に大山忠作美術館で開催した「二本松さくら展」には三万八千人を超える来場者があり、遠くはわざわざ京都からなど、県外からも多くのお客さまにおいでいただき、近隣の食事は連日大盛況となりました。

インバウンド事業では、台湾・福島空港・二本松市へのチャーター便での企画が、募集定員百六十人の枠がたった2日間で完売し、二百人のキャンセル待ちという状況となりました。30人の台湾マスコミ関係者が同行取材を行い、帰国後多方面に情報が流され二本松市の海外での知名度がさらに上がりました。菊人形会場や安達太良山等に海外の観光客の姿が数多く見受け

られるようになりました。今後の展開が楽しみであり、この交流人口の拡大が地域経済の活性化に大きく貢献してくれることを確信しております。

除染は、除染を希望した方々の一般住宅については昨年すべて終了し、公共施設、道路等も本年夏には終了予定となっています。除染土壌の運び出しについては、保育所や学校等から始まっており、一般住宅についても中間貯蔵施設の進捗にもよりますが、国・県と協議しながら計画的に進めてまいります。

待望の屋内温水プールは、25mプール、幼児用プール、流水プール、ウォータースライダー、トレーニング等ができる多目的室を備えた、魅力的な健康増進スポーツ施設として本年4月にオープンします。

介護・医療・福祉の相談窓口となる地域包括支援センターは、二本松地区と岩代地区の2カ所にしかありませんでしたが、市内全域のバラスを考え6カ所設置します。

また要望の大きかった、障がいを抱える子供さん達を支える特別支援学校の二本松市への誘致建設に向けて、県と本格的に協議を進めてま

いります。

二本松市の定住促進や子育て支援の補助制度の内容は県内自治体の中ではトップクラスですが、更に充実し、進化させていきます。

また、今まで取り組んできた、二本松商工会議所やあだたら商工会そしてJA等、それぞれの幹部の皆さまとの意見交換会や、青年会議所や商工会青年部そして各種団体等との懇談会を引き続き開催し、皆さまのご意見をしっかりと各種政策に反映してまいります。

そして今年も、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る補助メニューを駆使し、新しい取り組みを積極的に進めてまいります。

私の基本姿勢は、とにかく地元で頑張っておられる皆さまを大切にすることです。地元の企業、農畜産業、商業、観光業、その他自営業者等、皆さまの繁栄が二本松市の元気の源になると考えています。

本年も市民の皆さまと一丸となって「更なる元気な二本松」づくりに取り組んでまいります。結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りし、年頭のあいさつといたします。





新年あけましておめでとうの挨拶

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災、原発事故の発生から5年9カ月余りが経過いたしました。

現在、本市におきましては、除染を希望した方々の一般住宅除染については昨年すべて終了し、森林除染や汚染廃棄物の宅地内からの搬出などが鋭意進められており、一日も早く元の安全に、そして安心して暮らせる生活環境に戻ることを心から念願いたしております。

また農作物など県内産品への風評被害につきましては、徐々に薄れつつはあるものの、まだ少なからず影響は続いておりますので、安全性のPRに、より一層力を注いでいかなければならないと思っております。

さて近年は、少子高齢化、大都市への人口の集中などにより、地方都市の人口減少が急速に進んでおります。

このような中で国は、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を

確保して、地方を元気にすることが日本を元気にすることにつながるとし、「地方創生を推進しております。

本市におきましては、昨年度からスタートいたしました新総合計画「二本松を元気に！新5カ年プラン」、「二本松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策や市内経済の活性化、市民の健康づくりなど各種事業に鋭意取り組んでいるところであり、市議会でも一般質問などを通じ、様々な政策提言を行っているところであります。

地方分権の進展により、地方の自主性、自立性が一層求められる中で、二本松市をさらに元気で活力あるまちとするために、私も市議会といたしましても、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市政の伸展と市民の幸せ実現のため、議員一丸となって取り組んでまいり所存でありますので、引き続き、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、「市民に開かれた議会」、「市民に分かりやすい議会運営」を目指し、さらに議会改革を推進してまいりますので、ぜひ市役所に足を運んでいただき、議会を傍聴くださるようお願い

い申し上げます。

結びに、市民の皆さまの益々のご健勝とご多幸、二本松市の限らない発展を心よりご祈念申し上げます。議会を代表しての新年のごあいさつといたします。



市民に開かれた
議会を目指して

二本松市議会議長

野地 久夫